

かゆい戸所に  
手がとどく //

# 保育現場の「超」具体的安全戦略!

## 第13号



## 自転車の「危ない」を防ぎましょう

入園を機に、お子さんを自転車に乗せ始める方も増えます。自転車は手軽な乗り物ですが、同乗していた子どもが亡くなる事故も少なからず起きています。自転車登園が始まる前に安全確認をしましょう。



所 真里子



日本子ども学会常任理事、ISOガイド50(子どもの安全の指針)JIS原案作成委員会委員、保育の安全研究・教育センター設立メンバー。家政学修士(日本女子大学)。子どもの安全の専門家として研修講師、調査研究等を行っている。

### 重く、バランスを崩しやすい



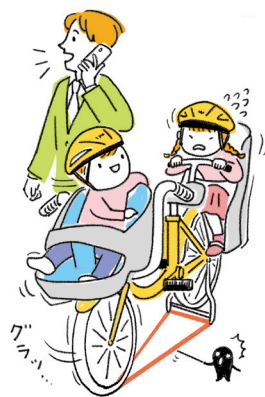
通常の自転車の重さは約17kg、電動アシスト自転車は約30kg。子ども2人と大人を加えると、総重量は80~100kgに! バランスを崩しやすく、転倒の危険も。走り出す時や駐輪する時は最もふらつきやすくなります。

### 車輪に巻きつく、からまる

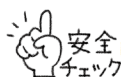


荷物かごから垂れ下がったかばんのヒモ、ハンドルにかけた傘や袋、スカートの裾やスカーフ、子どもの足などは車輪に巻き込まれたり、からまったりして非常に危険です。転倒の原因にも。子どもの足が後輪に巻き込まれると重傷事故につながります。

### 停車中の自転車は倒れやすい



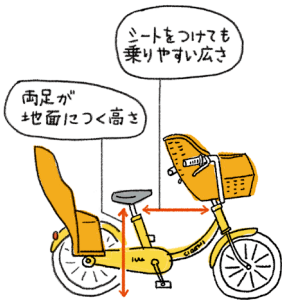
駐輪中は、前輪とスタンドの3点だけで車体を支えているため、とても倒れやすい状態です。



## 3つのポイント 自転車登園を始める前に

### その1 乗せる人数にあった自転車を選ぶ

通常の自転車に乗せられるのは子ども1人です。2人乗せる場合は、幼児2人同乗用自転車を選びます。自転車やシート選びに迷ったら、専門業者に相談してください。



### その2 ヘルメットをかぶってから乗る

子どもに乗せた瞬間、倒れることもあります。「かぶってから乗る」を習慣に。自転車事故死の約6割は「頭部のケガ」で、ヘルメットを正しく着用していれば死亡確率が4分の1に減るというデータもあります(※)。



### その3 乗る時は「後ろが先、前が後」、降りる時は「前が先、後ろが後」

前の座席を使う場合は、体重が軽いほうの子どもを乗せます。子どもを座席に座らせたら安全ベルトを必ず着用。



これはダメだよ



幼児同乗用自転車であっても、3人乗りは道路交通法違反です。また、前抱っこも違反であり、とても危険です。



※「交通事故分析レポートNo.97」(公益財団法人交通事故総合分析センター、平成24年11月)

保育現場の超具体的安全戦略 第13号 発行日/2022年3月9日

著/所真里子 イラスト/柚木ミサト 編集/掛札逸美 協力/柴田洋平、板垣義一、今西淳浩(レーヴ法律事務所)

©所真里子 発行元/チャイルド社



メールマガジンに関するご感想、お問合せは株式会社チャイルド社 出版・セミナー部までお願いいたします。shuppan.seminar@child.co.jp